



## 「決めた心が自分の人生」

国語科 岡田和美

高校での教育実習5日目だったか。教室に入り、教卓の上に教材を置くと、1人の男子生徒が近づいて来ました。

「先生はね、俺たちにあてるとき、申し訳なさそうにしてる。だけん、困ったときは、いつでも俺にあててよかけん…」

この出来事が、今では信じてもらえないほど、すっかり？たくましくなりました(笑)。

今年度「国語」を担当します、岡田和美です。互いに認め合い、共に学び合える、楽しい空間にしたいと思っています。

私は生徒のみなさんと同じ頃、高校1年生のときです。「生きるとは？」の問いを立て、「世のため人のため」を検証するように、生きてきました。

キッカケは、父親が交通事故に遭ったことです。あとで母から聞きました。搬送されたときに医師から、「覚悟してください」と言われていたと。



事故の2日後に登校した私は、部活動顧問の先生から「お父さんはどんなだ？」と聞かれて、「大丈夫です！」と答えていました。本当は、意識不明の重体だったんですけどね。

信じる力は、その3日後に奇跡を起こしました。そして、貴重な出会いが待っていました。

みなさんは、「思考は現実化する」って、聞いたことはありますか？この「本質」を知ることで、自分の人生を創り出していくことができます。

実現して分かりました。夢は叶うものではなく、「叶えてもらうもの」だということも。

これから教科を通して、私の集大成も伝えていきます。それが、みなさんへの応援につながればいいなと思っています。

どうぞよろしくお願いしますね。



日	曜	6月の予定	※コロナに関する国や県、市等の方針に従い、変更になる場合があります。
1	月	高校】大受】 <前期>通常授業開始	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金	大受】ベネッセマーク模試	
6	土	↓	<b>■高等学院</b> 通常授業が始まりますが、登校した際は、マスクやアルコール消毒を心掛けてください。 また、体調の変化にも注意を払って、無理をしないようにしてください。
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土	保護者会 / オープンスクール	
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		<b>■ 大学受験科</b> 通常の時間割での授業が開始され、より本格的な「受験勉強」が始まります。また、模試もありますので、受験日・受験科目の確認をお忘れなく！ ☆6/5(金)、6(土)：ベネッセマーク模試 ☆6/26(金)、27(土) ベネッセ記述模試
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金	大受】ベネッセ記述模試 高校】通信制高校対象進路説明会(総合学習/ペア)	
27	土	↓	
28	日		
29	月		
30	火		

☆雨の多い季節になります。毎日、天気予報を確認して、登校してください。傘の準備も忘れずに！



## カウンセラー森下の心理学コラム

スヌーピーに出てくるキャラクター、ライナス。彼がいつも肌身離さず持ち歩いている青い毛布は、

「安心毛布（セキュリティ・ブランケット）」として知られています。イギリスの小児科医で精神分析家のウィニコットという人は、いつも肌身離さず持ち歩き、それがないと不安になる毛布、タオル、ぬいぐるみといった無生物を、移行対象と呼びました。

移行対象は母親の代わりとして、主に乳幼児に現れるものですが、現れない場合もあります。不安になったり、嫌な感情が起こったときに、移行対象であるぬいぐるみや毛布を触ったり、においをかぐことで、気持ちの立て直しをしているのです。

移行対象は子どもだけじゃなく、大人も持っているものなのです。ストレスを感じた時などに無条件に安心できるものがあるのは、精神的な支えになります。悪いことではないので、日常生活に支障がでなければ、無理に手放さなくてもいいのです。

かつて、日本では、ぬいぐるみや毛布を手放せない子どもは愛情不足が原因なのではないかと言われていましたが、欧米では、子どもが自分で感情を抑えようとする「自立のための一歩」だと考えられ、むしろ「もつことが当然」と認められているそうです。

ちなみに私の息子（小1）は、生後間もない頃から使っている掛け布団を、家の中では肌身離さず持ち歩きます。まさにリアルライナス君です。



## 今、思うこと…

高橋 陽子



「おはようございまーす！」と元気に登校してくる子。眠たそうな子、恥ずかしそうに入ってくる子。

志成館では、5月の連休明けから学年別の分散登校が始まり、やっと活気が戻ってきました。全員、マスクをつけ、進んで手の消毒をしてくれていて安心です。

私は、しーんとした校舎で、「みんな、どうしているんだろうか？」と生徒の顔を思い浮かべながら、2ヵ月余りをすごしていました。

家では、ひたすら自粛生活に努めていて、もともと、インドア派の私なのですが、外に出ないことを褒められて、変な気持ちです。

私達は、後に世界史の教科書に載るような事をリアルタイムで体験している訳ですが、現在、在宅勤務・オンライン授業・会議もリモートでとされているなか、コロナ後、いろいろなことが様変わりするかもしれませんが、通信制の生徒たちにとって居心地の良い社会になればと思います。



## キョジイの“ちょっといい話”～その②

一番を目指すなら、笑顔で一番になろうよ！



“笑顔で一番”って  
かっこいいなあ～！  
笑顔を競い合える、  
そんな世の中に  
なったらいいな～！

今の世の中、競争社会！順番をつけるのが好きなんですけど、どうしても競争したいのなら、「誰が一番の笑顔になれるか」で競争しようよ！勉強でがんばってもいいし、スポーツでがんばってもいい、趣味の世界でがんばってもいい、自分の中の成長でもいい…。その先には、必ず“笑顔”が待っています。

皆さん、これからの学校生活を“笑顔”で競争してみませんか？卒業式で、最高の“笑顔”が見られますように…。きっと、順番はつけられないので、全員が一番になるでしょうね(^\_^)

## 奥深いフォークの世界 by 沖住



あ、沖住です。今回ご紹介するのは、ふきのとう「南風の頃」です。ふきのとうは北海道出身のフォークデュオで、私が重要視するメッセージ性は低いものの、曲がとても美しく、どこか物悲しいため、私、沖住が大好きなデュオであります。

この「南風の頃」の南風とは5月から7月に吹く風のことです。その風が吹くころに季節の変化をふと感じて、昔（彼女と別れる前？）を懐かしむという歌です。よくある歌のようですが、メロディと歌詞が非常にマッチしており、サビのハモリもきれいで、ギターで弾き語るととても気持ちの良い歌です。

大学1年生のころ、徐々に仲良くなった同学部の友人のK（友人のKというと夏目漱石の「こころ」のようではありませんか、ちなみに、この友人Kは漱石信奉者です）に、この歌を聞かせたところ、「これはまさに今の心中を歌っている！」と感動していました。そしてその年の学園祭、サークルでフォーク喫茶を開いた僕とKは、この歌を喫茶店内のステージで披露するのです。なんと青春ではありませんか。

4月に限らず仕事や生活環境が変わり、1、2ヵ月が経って徐々に落ち着いてきたころ、私は必ずこの歌を歌います。別にそうしようとしているわけではなく、ふう、と一息ついたころに必ず思い出し、無性に歌いたくなるのです。

「南風吹いたら 吹き流し流れて  
本棚の日記帳 書き残したまま  
僕の背中で思い出が ゆらゆら揺れてます  
昨日の涙で面影も ゆらゆら揺れてます」





# 志成館・ぐるぐるログ

4月27日から5月10日までは「こども読書週間」でした。そこで志成館では、HPブログにて各先生方のおすすめの本を紹介しました。ここでは改めて本の紹介をさせていただこうと思います。気になる本があったら、薦めている先生に尋ねてみてください。快く貸してくれると思います。

「本は心の栄養」と言われます、読書はきっとあなたの人生を豊かにしてくれるはずです。



## ★中道校長先生のオススメ

『All I Really Need to Know I Learned in Kindergarten』

（「新・人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」ロバート・フルガム）

人間としてどう生きるのか、どんな気持ちで日々の生活を送っていくのか、本当に大事なことはもう知っているはず。しかし、大人になるにつれて少しずつ忘れていきます。それらをもう一度思い出し、人生の知恵として大切にしていきたいと思えるような本です。

## ★1年担任 清田先生のオススメ

『関ヶ原』（司馬遼太郎 文庫本全3巻）

『竜馬がゆく』（司馬遼太郎 文庫本全8巻）

父が突然倒れ入院。大学の夏休み中、私がずっと病院に寝泊まりして看病していました。暇を持て余し、病院内の売店でふと手にしたのが司馬遼太郎さんの「関ヶ原」（文庫本全3巻）でした。これは、徳川家康と石田三成の対立を軸に、天下分け目の決戦となった関ヶ原の戦いを描いた作品でした。さらに、司馬さんの代表作である長編時代小説「竜馬がゆく」（文庫本全8巻）も購入し、父の病室で読みふけりました。幕末維新を駆け抜けた竜馬の姿は、その後の私の人生に大きな影響を与えてくれました。

## ★1年副担任 柴田先生のオススメ

『Life Traveler 人生の旅人』（喜多川泰）

この本は、僕がはじめて一人旅に出たときに会った人からもらった思い出の本です。旅をテーマにした物語で、旅先での出会いやさまざまな経験がその人の財産になる、ということを教えてくれます。そして、「ぼくたちは人生という旅の途中」で、どういう旅をするのかは自分次第だということを知っています。自分を変えたいとき、次の一歩を踏み出せないときに背中を押してくれる一冊です。

## ★2年担任 沖住先生のオススメ

『グミ・チョコレート・パイン』（大槻ケンヂ 全3部作）

僕の人生を変えた一冊（3部構成の三冊なんです）です。「世の中は通俗で凡庸な馬鹿ばかりだ。俺は他のやつとは違うく何か>を持っているはず」という気持ちと「とはいえ俺ってとことん駄目なやつだよなあ」という気持ちの奥底に同居している人はぜひ読んでください、これはあなたの物語です。

## ★3年担任 甲斐先生のオススメ

『反対尋問の手法に学ぶ 嘘を見破る質問力』（荏司雅彦）

この本には弁護士による嘘や矛盾を見破る方法が書かれています。内容は法律的なことではなく、心理学とその実践です。ある特定の専門知識を持った相手や自分に専門知識がない時にどうアプローチするのか？などの面白い話が事例付きで載っています。それから、結論が先に書いてあり、後から理由が書いてある形なので、これから小論文の練習する3年生は読んでおくことごとくためになります。

## ★八代校人吉キャンパス担任 小堀先生のオススメ

『星の王さま』（サン・テグジュペリ）

見どころの一つは、子どもである王子さまと、星々で出会う大人たちとの対話です。登場する大人たちは皆信念をもって生きていますが、王子さまの子どもならではの純粋な感性からくる問いにうまく答えることはできません。そのあたりに、読んでいる私たちは一章ごとに立ち止まり、深く、あれこれと考えるヒントをもらえるような気がします。

## ★カウンセラー 森下先生のオススメ

『きっと明日はいい日になる』（田口久人）

この方の書かれる文章は鋭くて、人の良いところも悪いところも書いてあるんですね。それでいて“こんなふうには考えなさい”みたいな教えや上から目線ではなく、きちんと共感して寄り添ってくれる書き方をされています。昨年度、目が回るような日々を送っている時期がありました。そんな中、少しでも自分の時間を作ろうと本屋さんに行き、何となく表紙が気に入って手に取った本がこの『きっと明日はいい日になる』でした。

## ★事務担当 高橋さんのオススメ

『金子みすゞ童話集 明るいほうへ』（金子みすゞ）

金子みすゞさんの人生は、重い病気や夫との仲に苦しんだりと壮絶なものだったそうです。そのような人生とは正反対にやさしい言葉がたくさんあります。壮絶な人生だからこそ読者の心に響く作品が生まれたのかもしれない。また、詩集なので小説を読むときのように集中する必要もなく、気軽に読むことができるので、机の上にも置いておいてふとした時に読んでみてほしい一冊です。



日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学院

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号（味噌天神バス停徒歩0分／味噌天神となり）

TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <http://www.siseikan.net>